

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成27年5月7日(木)~15日(金)

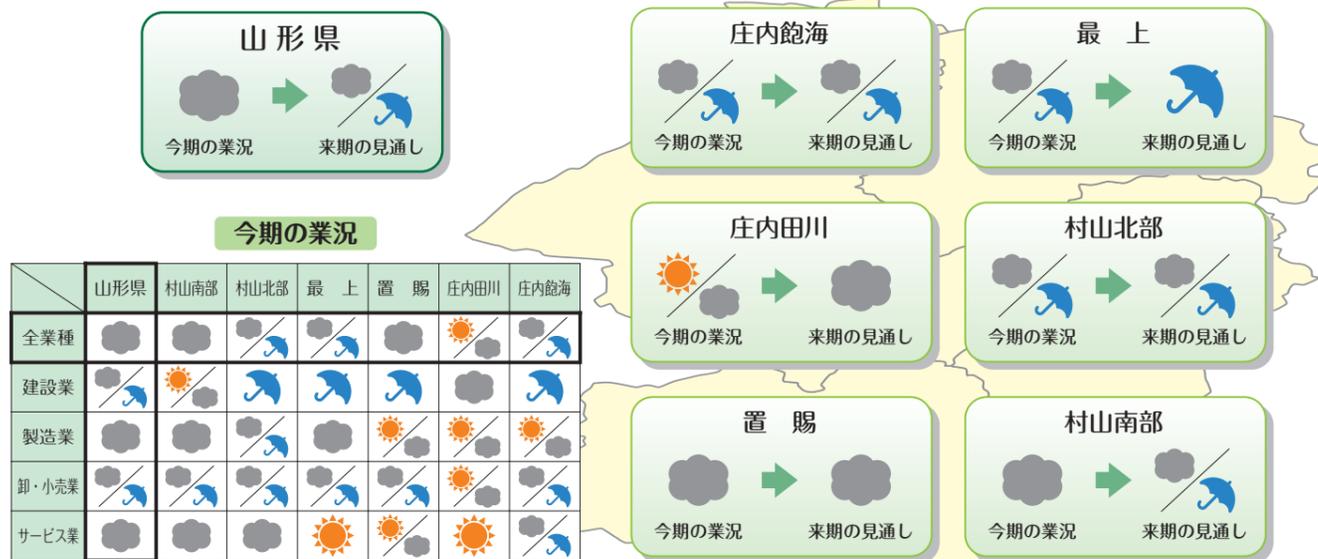
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形717社、秋田647社
有効回答数 山形442社、秋田435社
回答率 山形61.6%、秋田67.2%

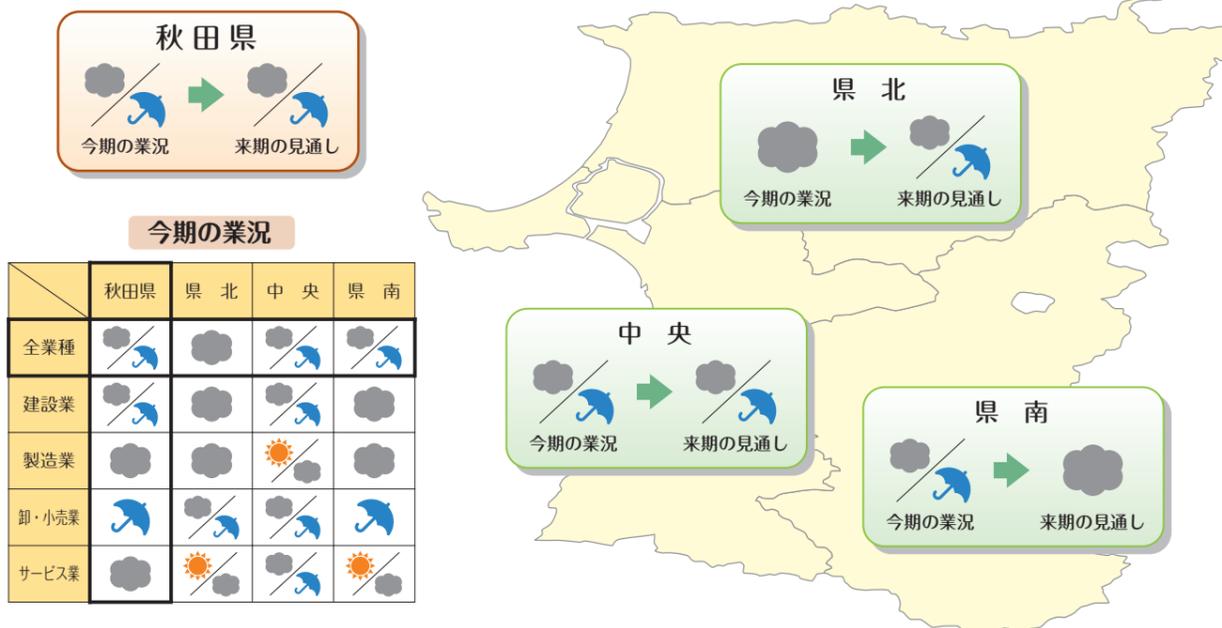
特に好調 DI \geq 30	好調 30>DI \geq 10	まあまあ 10>DI \geq 10	不振 Δ 10>DI \geq 30	きわめて不振 Δ 30>DI

▶ 景気天気図

第43回「山形県内企業の景気動向調査」



第16回「秋田県内企業の景気動向調査」

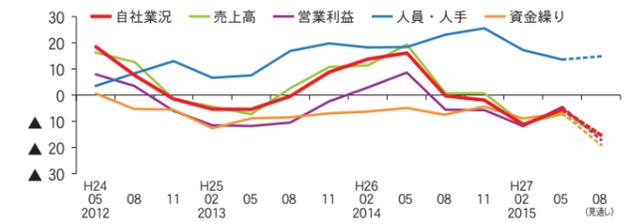


▶ 自社業況の動向

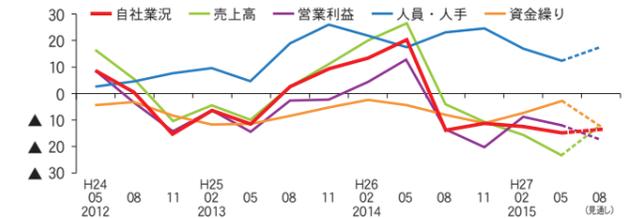
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲5.5(前回調査比5.6ポイント上昇)と4期ぶりに改善した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」の3項目で改善となった。中でも「営業利益」が▲4.5(前回調査比7.5ポイント上昇)と、DI値はマイナスながら改善幅が大きい。

秋田県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲15.0(前回調査比2.8ポイント下落)と小幅ながら2期連続の悪化となった。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「資金繰り」がDI値はマイナスながら2期連続で改善したものの、その他の項目はいずれも悪化している。中でも「売上高」は4期連続で悪化した。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



▶ 業種別の動向

山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業が悪化したものの、製造業、卸・小売業、サービス業の3業種で大幅に改善し、製造業とサービス業ではいずれも、前回調査でマイナスであったDI値が再びプラスに転じた。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、製造業が2期ぶりに改善し、DI値がプラスに転じた一方、建設業、卸・小売業、サービス業はいずれも悪化した。悪化した3業種については、消費マインドの回復の遅れを映じた需要の停滞が影響しているものと考えられる。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

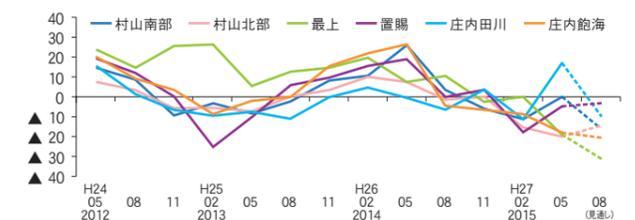


▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部、置賜、庄内田川で改善し、中でも村山南部は4期ぶりの改善となった。一方、村山北部、最上、庄内飽海で悪化した。村山北部が2期連続、庄内飽海が4期連続の悪化となった。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県北が改善した一方、中央、県南がともに悪化となり、中央は小幅ながら2期連続の悪化となった。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

